

2023年入学式告辞

2023年4月1日

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。市邨学園名古屋経済大学は本日、大学院に46名、学部には559名、合わせて605名の入学生を迎えることができました。名古屋経済大学の教職員を代表して、心から皆さんの入学を歓迎いたします。キャンパス内の桜は満開を迎え、春爛漫の良き日に、滝 誠（たきまこと）犬山市教育委員会教育長、三浦千里（みうらちさと）犬山市議会議長、伊藤正久（いとうまさひさ）犬山商工会議所副会頭のご臨席を賜り、入学式を挙げていくことをうれしく思います。しかし、ウィズコロナが定着しつつあるとはいえ、会場が狭いために、通常とは異なり、来賓の方々のご臨席を制限し、また、何よりも皆さんの生活を今日まで支えて下さった保護者の方々の参列を制限せざるを得なかったことを非常に残念に思います。参列いただいた保護者の方々には、今日まで学生の生活を様々な面で支えていただいたことに感謝申し上げますとともに、お子様たちのご入学を心からお祝い申し上げます。新入生の皆さんは高校時代には新型コロナウイルス感染拡大防止のために活動を非常に制限されてきたと思いますが、本学では大学の講義や部活などのすべての活動は原則として通常通り実施しますのでご安心ください。

ところで皆さんは、希望に胸を膨らませて、この場に臨んでいることと思います。どうか、この希望を忘れることなく、学生生活を送っていただきたいと思います。

ます。大学院生の皆さんは、すでに目的がはっきりしていると思われるので、その目的に向かって全力で研究を行っていただきたいと思います。

ここからは主に学部入学生にお話をしたいと思います。まず、申しあげなければならないことは、大学に入学することはゴールではなく、学びの終点でもなく、新たな学びの出発点だということです。学歴が社会で通用する時代はもう終わりました。皆さんが4年後に社会で問われることは、どこの大学を卒業したかではなく、大学で何を身につけたかであることを忘れないようにしてください。

告辞にはふさわしくないかもしれませんが、リアル感を増すために一つ実話を披露します。誰もが知っている名古屋に本社のある大企業に本学の学生が今年度就職しました。これが内定した時にその会社の役員の方にお会いする機会があったのでお礼を言うと、役員の方は知らなかったと言うとともに、最近では役員による採用面接の資料には在籍大学の記載がないと言いました。最近ではそのようにする大企業が多いと聞いています。

ところで、市邨学園の創立者である市邨芳樹先生の教えに「一に人物、二に伎倆」という言葉があります。これは本学園の建学の精神であります。AIが進化し、皆さんが卒業するころには、今まで人が行ってきた仕事の多くをロボットが代って行うようになると思われます。このような時代には、「人とは何か」だとか「人には何ができるか」が常に問われることとなります。しかし、何をするにしても、人としての良識を持ち、社会で尊重される人物であることが最も重要な前提となります。皆さんは18歳成人の法制化に伴い、大人としての自覚を問われてきたと思いますが、我々は、新入生の皆さんを、あえて大人としては扱わず、

4年間をかけて立派な大人に育てていく所存です。一年生から少人数クラス制をとり、日常生活の送り方も含めて教育をしていくつもりです。

また、現代では社会が必要とする人物像が大きく変わり、大学で身につけることが期待されている能力が変わってきました。高校でも指導要領が大きく変わり、入学試験もいわゆるセンター試験が大学入学共通テストに変更になりました。これは社会が求める人材が大きく変わり、それに対応するために教育内容の変更が必要になっていることを意味しています。その内容は一言でいうと「知識偏重から社会人基礎力重視へ」ということで、「考える力やコミュニケーション能力」の養成が重視されているということです。そうはいつでも高校ではまだ、大学入学試験対策のための学習が大きな比重を占めていると思います。大学の学びはそれとは大きく異なることになります。本学では社会人基礎力養成のためのプログラムを多数用意しています。

その概要を簡単に紹介します。本学は、グローバル人材の育成を教育目標に掲げています。グローバルとはグローバルとローカルを合わせた和製英語です。地域に密着し、地に足をつけて具体的に物事を考え、グローバルに、とりわけアジアで活躍する人材を養成することを教育目標にしているということです。本学は犬山にある唯一の大学として、地元にも愛され、期待されていると自負しています。

余談になりますが、犬山市は最近、若者に人気のある観光地としてマスコミで紹介され、観光客も多くなっています。春の犬山祭が今日、明日と4年ぶりに通常開催されます。ユネ

スコの世界遺産にも登録された「やま」には日本の物づくりの原点ともいわれる見事な「からくり」があります。まだ、犬山を観光したことがない人は是非、観光をしていただきたいと思います。なお、学生の皆さんは学生証を見せれば国宝犬山城に無料で入館することができます。

ところで、犬山市は素晴らしい観光地であるだけでなく、優れた学術都市でもあります。博物館明治村、野外民族博物館リトルワールド、日本モンキーセンターは単なるテーマパークではなく、学芸員という専門家を擁する博物館であり、他にも大学の研究機関が集積した立派な学術都市です。これらの研究機関が連携する場として、本学には犬山学研究センターが設置されています。本学では、この犬山を中心とした地域を学びのキャンパスと位置づけ、それらの施設を利用していただき、研究員の皆さんに助けられながら、地域に密着した学習を「体験型学習」と称して多様に展開しています。また、地域の要請に応じてボランティア活動なども活発に行っています。地域との連携を推進するために本学には地域連携センターも設置されています。高校での学習は、今なお大学入試のために、正解を覚えるという学習が中心だったと思います。しかし社会に出ると、解決すべき問題には正解は必ずしも一つではなく、また、正解があるかどうかもわからない問題すらあるでしょう。皆さんには、体験型学習やボランティア活動などを通じて、社会の具体的問題の在り方を理解し、それらの解決策を考える能力を持つ人材に育っていただきたいと思います。

また、最近では中国の急速な経済成長と影響力の拡大やウクライナ紛争などに

より世界は分断に向かっていると思われるかもしれませんが、科学技術の発展により各国経済の相互依存は今後も深化していくと思われます。そのなかで、世界の経済の中心は確実にアジアに移行しています。皆さんが社会に出るころには、アジアの主要都市は日帰り出張圏になっているでしょうし、海外と関係のない社会活動はありえないでしょう。したがって、皆さんにはグローバルに、とりわけアジアで活躍できる人材に育てていただきたいと思ひます。そのためには、異文化理解に基づくコミュニケーション能力が重要になります。今年は新型コロナの影響で47名しか留学生を受け入れることができなかつたのですが、全学では300名ほどの留学生が在学しています。本学のキャンパスは常にグローバル社会です。皆さんはこの環境を生かして、大いに国際交流に励んでください。留学生の皆さんは、遠慮することなく日本人に質問をしてください。日本人の友人を作ることが日本語上達の最も有力な手段です。しかもこれは日本人学生が国際的なコミュニケーション能力を身につけるためにもなるのです。

ガイダンスのような話になりましたが、皆さんが充実した学生生活を送り、4年後にはグローバルに活躍出来る立派な社会人に育てていただきたいと思ひます。本学はそのための機会を提供することをお約束し、私の告辞といたします。本日はご入学おめでとうございました。